



【編集発行】

高島市文化協会
高島市安曇川町田中455
TEL 0740-32-4457【題字】
大西 巖 顧問

謹賀新年

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます
会員皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます

高島市文化協会 役員一同

朗読劇「歴娘アヤカ・藤樹先生と馬方の巻」の学校公演の実施

喧噪と殺伐とした現代社会にあって、ときには人道や徳行を忘れがちな生き方が横行して、人を傷つけたり不幸な出来事となったり。このため、高島市の先人の教えから「人としての生きる道」を学ぶことで、これからの中学校生活や大きくなれば「人生」への一つの指針としていただく。対象は、大人へと成長し始める市内の六つの中学校の一年生。

本年度から新たに取り組んでいる「文化振興活動事業」の一環として行っています。

2013年(平成25年)11月15日(金曜日) 読売新聞

高島市新旭町の市立瀬西湖中で、郷土の先達の生き方をテーマとした朗読劇「歴娘アヤカ・藤樹先生と馬方の巻」が上演され、1年生3人が観覧に入った。市内文化協会が今年度から「文化振興活動事業」の一つとして始めた。横浜に住む女子中学生アヤカが、祖母が暮らす高島市訪れ、江戸初期の儒学者・中江藤樹の学問への強烈な興味を知つてもらおうと、市文化協会が今年度から「文化振興活動事業」の一つとして始めた。

人としての道 中学生学ぶ

高島市文化協会が朗読劇

朗読劇に聞き入る生徒たち
(高島市新旭町の瀬西湖中)～「人としての生きる道」を
学んでいただけたら…～

▼概要 横浜に住むアヤカは歴史大好きな中学生。高島市の先人を学ぶため、冬休み高島の祖母のところへやってきた。祖母カズコの案内で、今回は、藤樹先生と馬方又左衛門のことを学習しながら、高島の素晴らしい自然や景観も知る。

公演時間、30分。

▼朗読は『朗読劇団 ムサシ
(高島市内在住)』に依頼



- H25.11.25(月) 安曇川中学校にて -